

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 8212 Aug 26 2020

Copyright (C) 2020 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

東京時間2020年8月26日水曜日17時&lt;Assessment Closing Time&gt;

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

## ◎お知らせ

## ○アンケートご協力をお願い

平素より大変お世話になっております。

日頃より弊社のレポートをご愛読いただきありがとうございます。

さて、このたび弊社では、ジャパン石油製品(国内海上)レポートの質向上のため、国内の石油製品海上取引にかかるアンケートを実施することとなりました。

皆様から頂戴したご回答は今後の価格評価方法や紙面づくりに活用させていただきます。お忙しいところ恐れ入りますが、下記のリンクからご記入頂ければ幸いです。

<http://urx.red/Q6vm>

期限は8月末までとさせていただきます。

※アンケートに関するご質問等は下記までお願い致します。

リム情報開発株式会社

国内石油製品 ジャパン石油製品(国内海上)レポートチーム

[TEL]03-3552-2411

[Mail] [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

## ◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

26日のレックス22は、前日から0.32ポイント上昇し67.90です

## -----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
CROSS VIEW軽油	CROSS VIEW重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

東京時間2020年8月26日水曜日17時&lt;Assessment Closing Time&gt;

**◎国内石油製品海上バージスポット価格（製油所・油槽所バージ取り・円/kl）**

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 45,200~ 45,700 -	45,450	-	-500/+500
灯油	+ 42,000~ 43,000 +	42,500	-	-500/+500
軽油0.001%S	+ 47,900~ 48,800 +	48,350	-	-500/+500
A重油0.5%S	- 45,300~ 45,900 -	45,600	-	-500/+500
A重油0.1%S	+ 45,800~ 46,400 +	46,100	-	-500/+500
C重油0.3%S	40,000~ 41,000	40,500	-	-500/+500
C重油3.0%S	+ 33,750~ 34,750 +	34,250	-	-500/+500
船舶用重油				
0.5%S重油	+ 42,750~ 43,750 +	43,250	-	
3.0%S重油	+ 33,750~ 34,750 +	34,250	-	

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 45,200~ 45,700 -	45,450	-	-500/+500
灯油	+ 40,800~ 41,800 +	41,300	-	-500/+500
軽油0.001%S	+ 48,500~ 49,000	48,750	-	-500/+500
A重油0.5%S	- 45,300~ 45,900 -	45,600	-	-500/+500
A重油0.1%S	- 45,800~ 46,400 -	46,100	-	-500/+500
C重油0.3%S	40,000~ 41,000	40,500	-	-500/+500
C重油3.0%S	+ 33,750~ 34,750 +	34,250	-	-500/+500
船舶用重油				
0.5%S重油	+ 42,750~ 43,750 +	43,250	-	
3.0%S重油	+ 33,750~ 34,750 +	34,250	-	

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース

**◎国内石油製品ペーパーズワップ価格（国内製油所バージ取り・円/kl）**

	9月	10月	11月
ガソリン	- 45,200~ 45,700 -	+ 42,000~ 43,000 +	+ 42,300~ 43,300 +
灯油	+ 42,000~ 43,000 +	+ 44,000~ 45,000 +	+ 44,500~ 45,500 +
軽油0.001%S	+ 47,900~ 48,800 +	+ 50,100~ 51,100 +	+ 50,300~ 51,300 +
A重油0.5%S	- 45,300~ 45,900 -	- 45,500~ 46,100 -	- 45,600~ 46,200 -
A重油0.1%S	+ 45,800~ 46,400 +	+ 46,000~ 46,600 +	+ 46,100~ 46,700 +
C重油0.3%S	40,000~ 41,000	- 40,200~ 41,200 -	- 40,300~ 41,300 -
C重油3.0%S	+ 33,750~ 34,750 +	- 33,950~ 34,950 -	- 34,050~ 35,050 -

**◎東京商品取引所石油先物・日中取引（東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl）**

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
10月限	40,800	41,000	40,800	41,000	+750	4
11月限	41,000	41,300	41,000	41,250	+500	16
12月限	41,030	41,270	41,030	41,270	+670	5
1月限	41,000	41,350	41,000	41,350	+620	8
2月限	41,120	41,510	41,120	41,440	+600	51
3月限	41,660	41,890	41,400	41,890	-	13
合計	97					

灯油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
10月限	42,970	42,970	42,970	42,970	+420	1
11月限	43,170	43,490	43,000	43,490	+960	4
12月限	43,370	43,690	43,370	43,690	+890	3
1月限	43,860	43,860	43,380	43,500	+600	4
2月限	43,600	43,800	43,600	43,800	+700	15
3月限	-	-	-	43,100	-	-
合計	27					

軽油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
10月限	-	-	-	49,100	+300	-
11月限	-	-	-	49,300	+300	-
12月限	-	-	-	49,500	+300	-
1月限	-	-	-	49,700	+300	-
2月限	-	-	-	49,900	+300	-
3月限	-	-	-	50,100	-	-
合計						

原油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
8月限	29,330	29,330	29,280	29,280	+70	2
9月限	30,230	30,300	30,230	30,270	+530	73
10月限	30,490	30,510	30,450	30,470	+500	79
11月限	30,630	30,690	30,580	30,580	+350	187
12月限	30,780	30,800	30,690	30,700	+310	967
1月限	31,000	31,000	30,870	30,910	+330	6,611
合計	7,919					

取組高(08/25):

	売	買	
ガソリン=	1,732	1,732	
灯油=	940	940	
軽油=	0	0	
原油=	163,366	163,366	1枚=50kl

**◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)**

ガソリン	44,875	+300	灯油	46,300	+75
未課税軽油0.001%S	46,400	-50	A重油0.5%S	45,200	-150
A重油0.1%S	45,550	-200			

**◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)**

20/05/01-31r	16,810	20/06/01-30r	16,537	20/07/01-31	22,055
20/05/01-10	21,954	20/06/01-10	15,891	20/07/01-10	20,236
20/05/11-20	16,339	20/06/11-20	16,168	20/07/11-20	21,814
20/05/21-31	15,674	20/06/21-30	17,386	20/07/21-31	23,636

r=修正値

**◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)**

20/8月	29,340	±0	20/9月	30,990	+50	20/10月	32,010	+480
-------	--------	----	-------	--------	-----	--------	--------	------

**◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)**

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	+ 415.75 ~ 416.75 + **	-0.75/ -0.25	31,311
ジェット/灯油	+ 45.05 ~ 45.15 +	0.65/ 0.75	33,630
軽油 0.001%S	+ 50.20 ~ 50.30 +	-0.10/ 0.00	37,515
重油 0.3%S	- 352.50 ~ 362.50 -	75.00/ 85.00	40,506*
重油 380cst 3.5%S	+ 260.75 ~ 261.75 +	-11.00/-10.00	30,421

円ドル換算レート (TTS 円/ドル 8月26日現在) 107.46 \*密度0.95

\*\*ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値

**◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)**

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ジェット/灯油	+ 44.00 ~ 44.10 +	-0.40/ -0.30	32,297
米西海岸向け軽油	+ 49.45 ~ 49.55 +	-0.85/ -0.75	35,947
軽油 0.001%S	+ 49.20 ~ 49.30 +	-1.10/ -1.00	35,779
重油 380cst 3.5%S	+ 250.25 ~ 251.25 +	-21.50/-20.50	28,827

円ドル換算レート (TTM 円/ドル 8月26日現在) 106.46 \*還付金の2,800円を含む

**◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)**

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 45.10 ~ 45.20 +	0.35/ 0.45
ジェット/灯油	+ 43.90 ~ 44.00 +	-0.50/-0.40
軽油 0.001%S	+ 49.90 ~ 50.00 +	-0.40/-0.30
軽油 0.05%S	+ 48.20 ~ 48.30 +	-2.10/-2.00
重油 0.5%S	- 330.50 ~ 340.50 -	-5.00/ 5.00
重油 180cst 3.5%S	+ 282.00 ~ 283.00 +	4.50/ 5.50

**◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格**

	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR (\$/mt)	- 320.50 ~ 322.50 -	43.00/45.00*
0.45%LSWR (\$/bbl)	- 48.55 ~ 48.85 -	

\*シンガポールペーパー swaps 180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

**◎シンガポール・ペーパー swaps (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)**

	9月		10月		11月	
ナフサ	+ 44.70 ~ 44.80 +	+ 44.70 ~ 44.80 +	+ 44.45 ~ 44.55 +			
ジェット/灯油	+ 44.35 ~ 44.45 +	+ 45.20 ~ 45.30 +	+ 46.10 ~ 46.20 +			
ジェット/軽油格差	- -5.95/ -5.85 -	- -5.50/ -5.40 -	- -4.95/ -4.85			
0.001%S軽油	+ 50.25 ~ 50.35 +	+ 50.65 ~ 50.75 +	+ 51.00 ~ 51.10 +			
重油 0.5%S	+ 335.25 ~ 335.75 +	+ 338.00 ~ 338.50 +	+ 340.25 ~ 340.75 +			
180cst 3.5%S重油	+ 277.25 ~ 277.75 +	+ 276.50 ~ 277.00 +	+ 277.25 ~ 277.75 +			
380cst 3.5%S重油	+ 271.50 ~ 272.00 +	+ 270.25 ~ 270.75 +	+ 269.75 ~ 270.25 +			

**◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)**

	9月	10月	11月
ナフサ	-0.40	-0.79	-1.23
ジェット/灯油	-0.75	-0.29	0.42
0.001%S軽油	5.15	5.16	5.32
重油 0.5%S	6.47	6.50	6.65
180cst 3.5%S重油	-2.46	-2.96	-3.04
380cst 3.5%S重油	-3.34	-3.92	-4.19

**◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)**

	380cst		VLSFO		LSMGO (日本のみLSMDO)	
東京湾	299.00-302.00	+4.00	352.00-355.00	+3.00	531.00-541.00	-4.00
西日本	305.00-308.00	+4.00	358.00-361.00	+3.00	541.00-551.00	-4.00
伊勢湾	304.00-307.00	+4.00	357.00-360.00	+3.00	531.00-541.00	-4.00
韓国	312.00-315.00	0.00	365.00-368.00	+5.00	400.00-410.00	-5.00
シンガポール	288.00-291.00	+3.00	347.00-350.00	+1.00	375.00-385.00	+1.00

**◎韓国出しSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)**

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油	
北海道	39,997	+84	36,368	+240	40,591	+324	34,269	+210
京浜	39,795	+84	36,165	+239	40,388	+323	34,067	+210
中京	39,592	+83	35,962	+238	40,185	+322	33,864	+209
関門	39,321	+81	35,692	+238	39,915	+321	33,593	+208

**マーケットコメント**
**○元売り市中調達**
**トッパー停止数・3基 停止率10.0%**

26日は様子見が大勢。元売り向け、ないしはそれに紐づいた商社間の大口商談は浮上せず。9月相場について、ガソリンは引き続き民族系最大手元売り、民族系元売りが輸入でショートカバーを行うもよう。

一方、軽油は民族系元売りがショートポジションであるという事実はなく、今後も輸入や市中調達に動くことはないという。

**◎お知らせ**
**○アンケートご協力をお願い**

日頃より弊社のレポートをご愛読いただきありがとうございます。さてこの度、ジャパン石油製品(国内海上)レポートの質向上のため、国内海上取引にかかるアンケートを実施することとなりました。皆様から頂戴したご回答を今後の価格評価方法や紙面づくりに活用したいと考えております。お忙しいところ恐れ入りますが、下記のリンクからご記入頂ければ幸いです。

<http://urx.red/Q6vm>

期限は8月末までとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**○「国内石油製品海上バージスポット価格」の表記について**

8月26日付けレポートより、アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)に発行するレポートの「国内石油製品海上バージスポット価格」の「前日比」については「-」と表記致します。

**○ガソリン京浜・45,200～45,700円 西日本・45,200～45,700円**

**【概況】**9月相場はほぼ前日並みでスタート。夏の需要期がピークを超えるものの、元売り各社の需給調整および秋の定修シーズン入りで、余剰玉はそれほど出回らないとの見方が大勢。京浜地区では根岸製油所が定修を迎えたほか、西日本では山口製油所が近々に定修のため各装置の稼働を止める見込み。大分製油所の復旧めどは立っておらず、水面下では元売りからの引き合いも見え隠れ。

**【成約一覧】**JOF、OTC市場ともになし。

**【JOF市場】**午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	45,200		45,200			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

**【東西】**9月相場に移行し、JOF市場では京浜と阪神渡しで200klを対象に45,200円のビッドが入った。前日までの8月相場と比較すると小幅ながら値下がりしている。月変わりによる相場探りとして、買い手は軽いジャブを入れたようだ。

OTC市場でも様子見が大勢。8月同様に取引レンジ500円の相場観を伝える市場関係者が複数見受けられ、売りアイデアとして45,700円が寄せられた。夏相場がピークを越え、市場の関心が徐々に灯油へ移るのが通例ながら、今年は9月下旬に4連休を控えているほか、元売り間で生産調整も継続しているため、「水面下では一定の買い気も残る」(市場関係者)という。民族系大手は陸上市場で市中買いを継続する見通し。民族系最大手も海上市場でマーケットチェックを進めているようだ。

足元の在庫はややアンバランス。石油連盟がまとめた22日現在の在庫状況を見ると、東日本が前年比10.2%の積み上がりに対し、西日本は同30.8%。もっとも、9月以降、西日本で複数製油所の定修が予定されているため、一定の溜め込みもカウントされている。

市況連動は月変わりですべて東西ともに月間平均レス500円～プラス500円に修正された。

**【その他】**石油連盟がまとめた直近4週の輸入は約93万klにとどまり、前年から半減となった。

**【先物】**東商取10月限の帖入れ価格と京浜現物価格の差は4,450円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	893,058	-68,030	1,566,522	-30,288	38,004	13,021
西日本	896,336	64,057	772,082	22,820	0	0

○灯油 京浜・42,000～43,000円 西日本・40,800～41,800円

【概況】スポット商談は9月に移行した。8月見られていた消化目的の売りが後退し、相場は切り上がった。しかし、西日本では9月商談に移行後、早々に売りに動くプレイヤーもあり、東西の水準は大きく乖離してのスタートとなった。

市況連動商談は東西いずれも月間平均レス500～プラス500円となっている。

### 【成約】

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
大西	OTC	200	40,800		

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	42,500				42,500	
数量	200				200	
市況連動						
数量						

【東西】京浜では9月商談に移行して早々、JOF市場でビッドが提示され始めた。価格は42,500円となっており、製油所玉が対象。東商取先物市場の当限価格を意識した水準とみられる。陸上スポット市況や最大手元売りの基準価格と対比して大幅に安いため、手当てを試みた可能性がある。一方、OTC市場では商社や広域ディーラーから42,500円の売りアイデアが寄せられており、売買双方は42,500円がベースとなっていた。

西日本でもJOF市場で四国の中堅元売り玉を対象に42,500円のビッドが提示された。ロットは200klと小さめだが、OTC市場では「同水準であれば販売可能」(商社、広域ディーラー)との声が出ている。海陸で8月枠の整理などを行っている兼ね合いでこの日はオファーを提示しなかったプレイヤーが多かったようだが、JOF市場でのオファー提示を検討したいとの声が寄せられていた。

この中、西日本では引き続きディーラー間の成約が伝えられていた。40,800円で大西玉が成約されており、JOF市場のビッドと比較して大幅に安かった。TOCOM現物市場でも成約と同値の40,800円や

41,100円といったオファーが提示されていたが、商社一社からはこれらのオファーについて「いずれもクレジットが開いておらず、取引ができなかった」との指摘が伝えられている。中には「西日本の市況を引き上げるためにオファーや成約を提示しているのではないか」(市場関係者)との観測とともに、某ディーラーの名前を挙げる声もあったものの、詳細は確認がとれない。

9月商談がスタートし、8月に見られていた消化の売り物は姿を消した。しかし、9月についても8月同様に各社の手持ち玉は多めという。7月末の最大手元売りの調整金大幅上げを前に一定量の溜め込みを済ませていたプレイヤーが多く、各社の在庫は早々に積み上がっていた。しかし、足元の陸上の販売は高い気温を背景に振るわず、実際、最大手元売りのインタンク向け販売量も25日までで6割台にとどまっているとの指摘もあった。また、海外市況は引き続き国内市況と対比して割安とあって、ショートカバーを行う必要があれば輸入で賄うプレイヤーが多そうだ。これらの状況から買い気は引き続き乏しく、相場の上値は重いとの見

方も出た。

【在庫】8月16～22日までの全国の在庫水準は前年同期(2019年8月18～24日)と比較してジェット燃料油が14.7%少ない78万kl、灯油が6.0%多い

239万klとなっている。この間の輸出量はジェット燃料がわずか1万6,000klとなっており、前年同期の27万klと比較して大幅減少となった。灯油はゼロ。

在庫内訳	単位:kl	前週比	ジェット	前週比	合計	前週比
東日本	1,806,125	134,418	358,336	27,329	2,164,461	161,747
西日本	585,585	59,361	420,936	13,536	1,006,521	72,897
輸出内訳						
東日本	0	0	13,955	-8,803	13,955	-8,803
西日本	0	0	2,489	-56,474	2,489	-56,474

○軽油 京浜・47,900～48,800円 西日本・48,500～49,000円

【概況】スポット相場は9月商談に移行した。9月1週目には最大手元売りの基準価格が1,000円程度上昇するとの見方があるため、売り手が先高を意識して唱えを上方修正する動きがあった。

市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス500～プラス500円となっている。

【成約一覧】成約は表面化せず。

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	47,700		49,000			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

【東西】東西のJOF市場では9月商談に切り替わって早々、ビッドが提示されている。

京浜の最も高いビッドは47,700円だった。8月商談と同じく製油所玉が対象となっているが、売り手は現れなかった。OTC市場では49,000円の売りが検討されており、売買唱えには1,000円超の乖離がみられた。売買唱えの中心値は48,350円となっている。

西日本では引き続きJOF市場において阪神の製油所玉を49,000円で買い唱えるプレーヤーがいる。また、同じく阪神製油所玉を対象に47,700円のビッドも提示されているが、いずれのビッドに対しても売り手は現れなかった。OTC市場では引き続き

産業用燃料向けに売り先を多く有するプレーヤーから48,500円の売唱えが伝えられている。大西で販売可能なようだ。

9月商談に移行し、東西のスポット市況は小幅に上昇した。9月3日以降出荷分に適用する民族系最大手元売りの基準価格が、足元よりも1,000円程度上昇するとの予想が出ている。このため、先高を意識して売唱えを引き上げる動きが出ている。

元売りの買い気はやはり浮上していない。マーケットチェックを目的としたビッドは連日提示されているが、ショートカバーを目的としたものは無さそうだ。定修が複数控えている民族系元売りについても、軽油については輸入や市中調達を行



うことはないという。

水産庁は26日開札で9月納期の90klを対象とする競争入札を実施し、届け49,400円で落札された。

【在庫】8月16～22日までの全国の在庫水準は前年同期(2019年8月18～24日)と比較して9.5%多い

186万7,000klとなっている。出荷量は前年よりも

25.6%減の54万1,000klにとどまった。また、輸出量もわずか5,000kl程度と、前年同期の27万klに対して大幅な減少となった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	932,183	-7,660	640,926	57,107	4,934	491
西日本	934,468	39,626	359,976	16,021	211	211

○A重油0.5%S京浜・45,300～45,900円 西日本・45,300～45,900円

【概況】東西ともに45,600円で9月商談がスタートした。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円となった。

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	45,900		45,900			
数量	100		100			
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにJOF市場で45,900円(100kl)のビッド、OTC市場で45,300円のオファーがそれぞれ寄せられ、ビッド/オファーが逆転した。9月商談初日は様子見ムードが強く、積極的な売買は手控えられたようだ。月内ポジションが固まっておらず、身動きが取れないプレーヤーもいたもよう。卸各社ともENEOSの基準価格45,500円を指標に売

買唱えを提示し、互いの腹の探り合いに終始したようだ。

【在庫】石油連盟の週間在庫統計によると、全国の在庫水準は409,466klと17,777kl減ったようだ。同統計から推計される16～22日の全国週間出荷量は80,244klと前週から25,658kl(47.0%)増加した。出荷の好調が在庫の取り崩しにつながったようだ。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	247,267	-9,629	21,866	21,866
西日本	162,199	-8,148	3,482	31

○A重油0.1%S京浜・45,800～46,400円 西日本・45,800～46,400円

【概況】東西ともに46,100円で9月取引が始まった。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円となった。

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	46,400		46,400			
数量	100		100			
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにJOF市場で46,400円の買唱え、OTC市場で45,900円の売唱えがそれぞれ提示され、売買唱えが交錯した。卸各社とも主要出し元の週決め価格を指標に売買唱えを提示し、9月スポット取引相場は系列並みでのスタートとなった。陸上市場では依然として8月取引が主流となっている

ため、9月の陸上市況が見えづらいことから、9月の海上取引も進めづらい状況にあるようだ。

【在庫】石油連盟の週間在庫統計によると、全国の在庫水準は289,223klと11,078kl減ったようだ。同統計から推計される16~22日の全国週間出荷量は93,198klと前週から19,805kl(27.0%)増加した。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	178,952	-3,349	694	-84
西日本	110,271	-7,729	0	-527

#### OC重油0.3%S 京浜・西日本ともに40,000~41,000円

東西ともに、相場の中値が40,500円からの9月商談開始となった。7~9月のメニュー価格を42,500円前後、メニューリンク売りのディスカウ

ント額を2,000円と想定し、40,500円の売りアイデアが伝えられた。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	483,486	26,761	0	0	16,989	3,302
西日本	231,677	-7,770	0	0	65,275	42,807

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比287円安の40,506円。

#### OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに33,750~34,750円

東西ともに、相場の中値が34,250円からの9月商談開始となった。7~9月のメニュー価格予想は34,000~34,500円。ディスカウントは期待できず、メニューフラットが相場とみる声が伝えられている。

~11月の原油価格に対し、サウジアラムコの調整金大幅に上乗せされるという見方が伝えられている。相場の先高観から、10月以降の入札案件に対する売りアイデアは、足元のメニュー価格プラス2,000円程度が伝えられている。

一方、10~12月のメニュー価格に反映される9

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	642,042	37,909	0	0	27,538	7,894
西日本	529,645	-8,740	0	0	19,340	3,983

**○0.5%S重油 京浜・西日本ともに42,750~43,750円**

東西ともに、相場の中値が43,250円からの9月商談開始となった。7~9月のHPP(高流動点)0.5%S価格の予想は41,000~41,500円、プレミアムとして2,000円を加えた43,000~43,500円が売りアイデアとして伝えられた。

8月は原油相場、需給環境いずれも動きがほとんどみられなかった。7月28日に7~9月の仕切り基準価格が通知された時点から相場に変化がないという指摘が聞かれた。

**○3.0%S重油 京浜・西日本ともに33,750~34,750円**

東西ともに、相場の中値が34,250円からの9月商談開始となった。バンカープレミアムは確認で

きず、一般産業向けのC重油3.0%Sと同水準で推移している。

【**ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格**】京浜の180cstベースで前日比541円高の33,010円。

【**硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格**】前日比678円高の28,827円。

**○スワップ取引・東商取概況**
**スワップアセスメントの基準ナンバーは午後3時~4時**

【**スワップ取引8月限**】ガソリンは前日から100円安の45,200~45,700円、灯油は同2700円高の42,000~43,000円、軽油は同450円高の47,900~48,800円、A重油0.5%Sは同150円安の45,300~45,900円、A重油0.1%Sは同1800円高の45,800~46,400円、C重油0.3%Sは同横ばいの40,000~41,000円、C重油3.0%Sは同250円高の33,750~34,750円。いずれも京浜の現物価格と同値。

【**東商取先物**】原油市況は切り上がっていた。ガソリン、灯油は原油相場同様に上昇している。当限のクラック・スプレッドはガソリンが前日比250円拡大の10,530円、灯油が同比80円縮小の12,500円でそれぞれ推移している。

**◎国内石油製品海上JOF・OTC成約**
**JOF成約は午後2時~2時30分に限定**

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
灯油	大西	OTC	200	40,800	

**◎マーケットニュース**
**○ENEOS=27日以降の基準価格、全油種据え置き**

ENEOSは26日、27日以降の出荷分に適用する系列向け基準価格を通知した。複数の市場関係者によると、全油種据え置きを通知した。同社は26日までの出荷分を全油種0.5円引き上げていた。

**○出光昭和シェル=27日からの仕切り価格は据え置き、2週続けて**

出光昭和シェルは26日、27日以降の出荷分に適用する仕切り価格を全油種で据え置くと通知した。複数の市場関係者が明かした。ENEOSも27日以降出荷分に適用する基準価格を全油種で据え置いている。

**○原油・石油製品供給統計週報＝＜石油連盟全国＞**

	今週	前週	前週比
	8/16～8/22	8/9～8/15	
<b>製油所稼働状況</b>			
週間原油処理量 (kl)	2,762,354	2,813,389	-51,035
週間トッパー実稼働能力 (b/d)	3,167,800	3,084,228	+83,572
週間トッパー実稼働率	78.4%	82.0%	-3.6
週間トッパー設計能力 (b/d)	3,518,800	3,518,800	+0
週間トッパー設計能力稼働率	70.5%	71.8%	-1.3
<b>石油製品週末在庫</b>			
ガソリン	1,789,394	1,793,367	-3,973
ナフサ	1,357,254	1,437,136	-79,882
ジェット燃料油	779,272	738,407	+40,865
灯油	2,391,710	2,197,931	+193,779
軽油	1,866,651	1,834,685	+31,966
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	289,223	300,301	-11,078
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	409,466	427,243	-17,777
A 重油計	698,689	727,544	-28,855
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	715,163	696,172	+18,991
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	1,171,687	1,142,518	+29,169
C 重油計	1,886,850	1,838,690	+48,160
合計	10,769,820	10,567,760	+202,060
<b>原油・半製品・装置原料週末在庫</b>			
原油	13,095,120	13,010,467	+84,653
粗ガソリン	2,338,604	2,346,072	-7,468
粗灯油	543,662	547,919	-4,257
粗軽油	1,000,902	927,774	+73,128
粗 A 重油	823,258	814,923	+8,335
装置原料	3,073,479	3,151,964	-78,485
合計	7,779,905	7,788,652	-8,747
<b>石油製品生産量</b>			
ガソリン	890,778	938,903	-48,125
ナフサ	171,908	257,283	-85,375
ジェット燃料油	141,766	157,919	-16,153
灯油	249,973	188,099	+61,874
軽油	577,856	571,363	+6,493
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	82,814	91,998	-9,184
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	87,815	78,820	+8,995
A 重油計	170,629	170,818	-189
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	151,540	106,669	+44,871
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	158,803	101,424	+57,379
C 重油計	310,343	208,093	+102,250
合計	2,513,253	2,492,478	+20,775
<b>石油製品輸入量</b>			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	n. a.	n. a.	-

HSA 重油 (S 分 0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A 重油計	n. a.	n. a.	-
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	0	0	+0
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	0	0	+0
C 重油計	0	0	+0
合計	n. a.	n. a.	-
<b>石油製品輸出量</b>			
ガソリン	38,004	24,983	+13,021
ナフサ	0	0	+0
ジェット燃料油	16,444	81,721	-65,277
灯油	0	0	+0
軽油	5,145	4,443	+702
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	694	1,305	-611
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	25,348	3,451	+21,897
A 重油計	26,042	4,756	+21,286
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	82,264	36,155	+46,109
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	46,878	35,001	+11,877
C 重油計	129,142	71,156	+57,986
合計	214,777	187,059	+27,718
単位: kl			

「n. a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

### ○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国

	2020/8/16~8/22		前週比		前年比(8/18~8/24)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	856,747	122,392	-1.6	-13,525	-5.6	-50,952
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	84,457	12,065	+8.5	+6,586	+19.2	+13,625
灯油	56,194	8,028	+84.8	+25,781	-55.5	-70,170
軽油	540,745	77,249	+54.3	+190,289	-25.6	-185,660
LSA 重油	93,198	13,314	+27.0	+19,805	-11.1	-11,666
HSA 重油	80,244	11,463	+47.0	+25,658	-20.6	-20,881
A 重油計	173,442	24,777	+35.5	+45,463	-15.8	-32,547
LSC 重油	50,285	7,184	+4.1	+1,964	-16.4	-9,887
HSC 重油	82,756	11,822	+66.7	+33,106	-40.1	-55,494
C 重油計	133,041	19,006	+35.8	+35,070	-33.0	-65,381
合計	1,844,626	263,518	+18.6	+289,664	-17.5	-391,085

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない

当該週出荷=前週末製品在庫+当該週生産+当該週輸入-当該週輸出-当該週末製品在庫

### ◎お知らせ

#### ○「立ち寄りオンラインセミナー」のお知らせ

リム情報開発は、コロナ禍の只中にある日本のエネルギー産業の現状と未来像についての考察を深めていただくための一助とすべく、以下の要綱でオンラインセミナーを開催いたしますのでお気軽に覗いてください。

◆テーマ: コロナにより変わりゆく日本のエネルギー産業

◆日時: 8月27日(木)、9月3日(木)ともに14~15時30分※短時間の参加も歓迎

◆形式: Microsoft Teamsを使用。事前にセミナーへアクセスできるURLをお送りします。

◆お申し込み：参加は無料。申し込みの締め切りは8月24日（月）までとさせていただきます。ご参加を希望される方は、下記のリンクよりお申し込みください。

<https://is.gd/JPeVYW>

不明点やご質問がありましたら、何なりとお問い合わせください。

リム情報開発(株) 研修・セミナー開発チーム

電話 03-3552-2411 E-Mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

### ○電力データCD・2019年度版の販売について

リム情報開発は、電力データCDの2019年度版の販売を7月15日から開始いたします。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております。電力データCDの最新版となります。最新版では、2019年4月から2020年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2019年度版は、収集件数4,740件(昨年度4,512件)で、うち比較可能なデータは3,379件(同3,282件)です。

#### 関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1545787.html>

お申込みこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/powerDataCd2019.pdf>

### ○リム電力レポートの英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は、2020年1月6日（月）にリム電力レポートの英語版を発刊しました。日本の電力市場は、20兆円の市場規模と世界でも有数の規模を誇る中、2016年4月の電力小売全面自由化以降、海外の事業者からも新規参入の動きが相次いでいます。特に海外の事業者による卸電力市場への注目度は高く、日本の卸電力市場の動向を理解する上で、電力レポートの英語版を希望する声はこれまでも多くありました。

このたび、こうした声に応えるべく、当社では英語版を発刊する運びとなりましたので、お知らせ致します。新たに発刊する英語版でも、日々の卸電力取引の動向を詳細に伝えるとともに、火力発電の動向、スパーク/ダークスプレッド、多種多様なグラフなど、日本語版と同様の情報を掲載して参ります。詳細は電力チーム(03-3552-2411、info@rim-intelligence.co.jp)までお問い合わせください。

### ○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を始めました。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/>

◇弊社ウェブサイトURLは [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。



◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:info@rim-intelligence.co.jp

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJpnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail:

info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725

Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

#### 事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail:[hagimoto@rim-intelligence.co.jp](mailto:hagimoto@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725

e-mail: [guanhong@rimbj.com](mailto:guanhong@rimbj.com)

[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:[rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2020 RIM INTELLIGENCE CO.